

面的集積優良事例調書

愛知県

1 地区名：愛知県西尾市三和地区

(事例の概要)

西三河農業協同組合が集積組織となって地域に働きかけを行い、地区内に分散している農地を委任契約により集積し、面的な利用集積になるよう地域の担い手農家に再配分して、農業用機械の効率的な活用、生産コストの削減並びに作業効率の向上を実現した。

2 地区の農業概要

- ① 農家戸数 295戸(専業 51戸、I種兼業 46戸、II種兼業 198戸)
- ② 耕地面積 550 ha (田387ha、畑163ha)
- ③ 主要作目 水稻223ha、小麦157ha、大豆155ha、等
- ④ 担い手農家数 39戸(うち認定農業者 25戸)
- ⑤ 集積面積 268ha (所有権 6ha、利用権 212ha、作業受託 50ha)
うち面的集積面積 160ha (所有権 4ha、利用権 106ha、作業受託 50ha)

3 取組の特徴

① 経緯

本地区は利用権設定等による利用集積は進んでいるが、面的集積は進んでいない。このため、市、西三河農業協同組合、担い手農家が話し合い、地域に働きかけて、西三河農業協同組合と所有者が委任契約を締結し、分散している圃場を担い手農家に再配分し面的集積を進めた。

② 成果

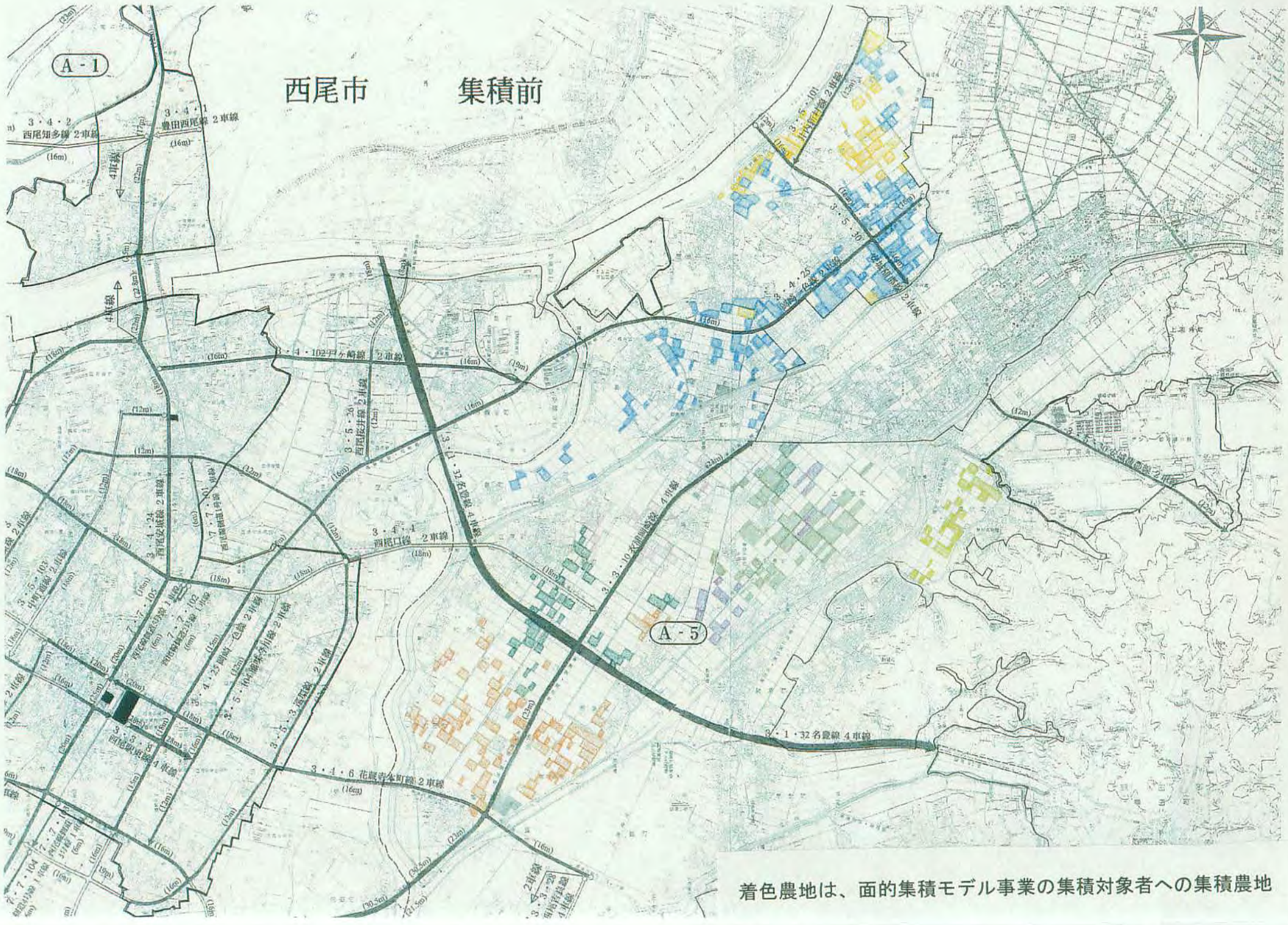
委任を受けた農地を担い手農家と利用権設定又は作業受委託契約を結び、新たに約77haを担い手農家に再配分し、面的集積率を向上させた。また、団地の増加により作業効率の向上が図られた。

4 今後の課題

将来的には、作業受委託を担い手への利用権設定に誘導することが課題である。

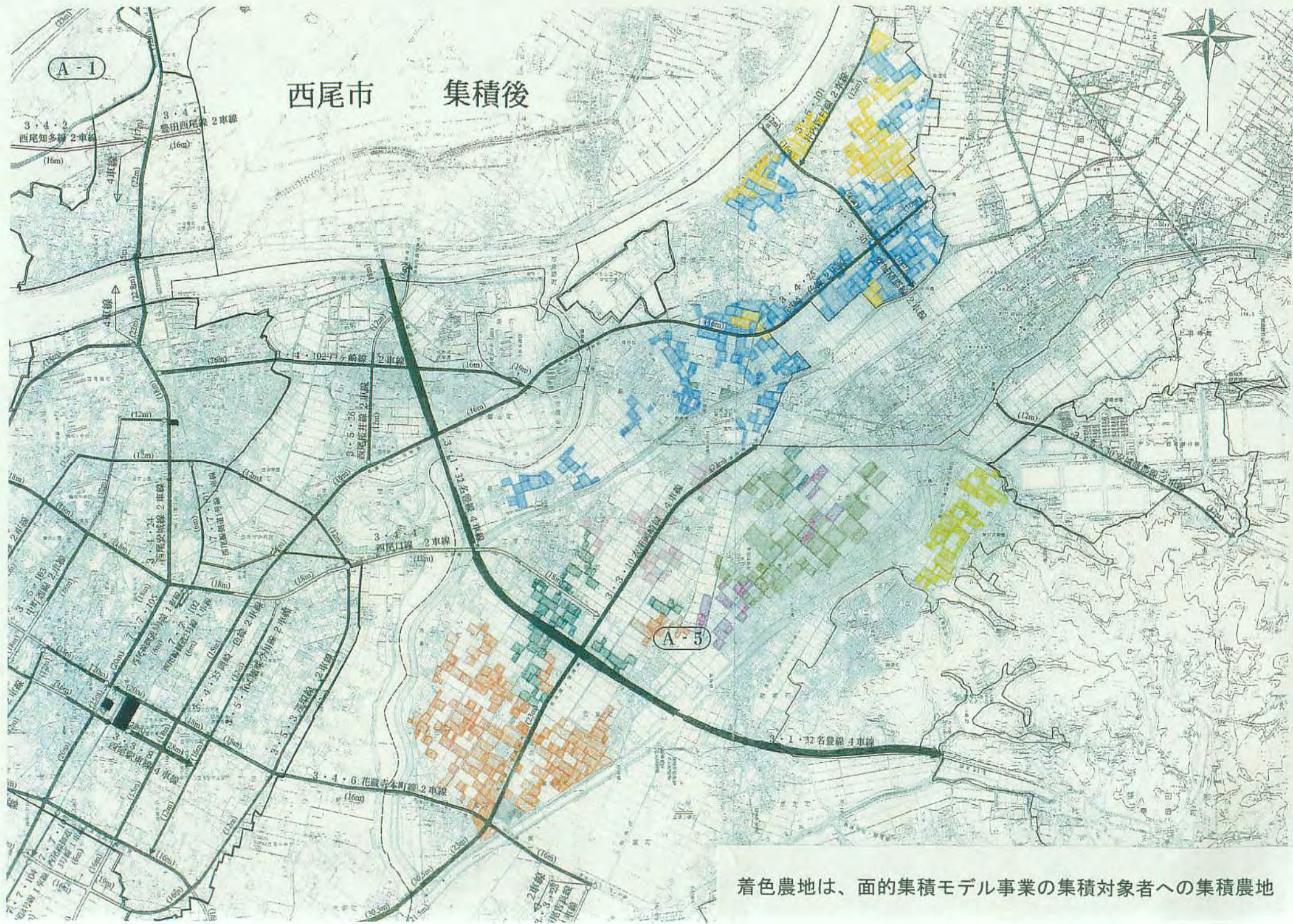
今後も地区の集会やJA、担い手からの働きかけを通じて利用権設定の拡大を図っていく。

西尾市 集積前



着色農地は、面的集積モデル事業の集積対象者への集積農地

西尾市 集積後



着色農地は、面的集積モデル事業の集積対象者への集積農地